



Bosch IoT Suite: 車両から建設機械、ベビーカーに至るまでのネットワーク化を実現 ボッシュのオープン IoT プラットフォームを選ぶ企業が増加

2020年2月17日

PI 11099 RB Fi/af

- ▶ 自動車メーカーから電力会社まで、さまざまな企業が Bosch IoT Suite を活用
- ▶ アナリストも認める高品質なオープンソースプラットフォーム
- ▶ IoT エッジ機能と AI が今後目覚ましい成長を遂げる

ベルリン(ドイツ) – ボッシュの新たな 100%出資子会社 Bosch.IO は、主力製品 Bosch IoT Suite により、車両から建設機械、電力会社のデータプラットフォーム、ベビーカーに至るまでのネットワーク化を実現しています。Bosch.IO は、すでに IoT プラットフォームを展開し、小売、エネルギー、ビルディング、製造、消費財、農業、モビリティ業界のお客様と共同で 250 以上の IoT プロジェクトに携わっています。「Bosch.IO のプロジェクトは、拡張性と安全性の高い IoT ソリューションの効率的な開発を代表するもので、オープンソースのクラウド基盤 Bosch IoT Suite を活用しています」と Bosch.IO の取締役であるステファン・ファーバーは述べています。Bosch IoT Suite では、お客様がプロジェクトに使用するクラウド環境を選択し、統合することが可能です。

汎用性と実績

Bosch IoT Suite は、**ダイムラー**社によるファームウェアの OTA アップデートを実現した立役者です。すでに約 400 万の車両オーナーが、新しいバージョンの車両ソフトウェア(インフォテインメントシステムのアップデートなど)を、通信ネットワークを介して安全かつ便利に受信しています。つまり、もはやソフトウェアアップデートを行うだけのためにディーラーを訪問する必要はありません。Bosch IoT Suite は、無線アップデートを受信する車両にとっての、通信ハブとなります。

ボッシュはスウェーデンのベビーカーメーカーである **Emmaljunga** 社向けに、快適性と安全性に配慮したアシスタンスシステムを開発しました。e ストロラーと名付けられたこのシステムは、電動ドライブと自動ブレーキ機能を搭載し、スマートフォンアプリとの連携も可能です。このアプリは Bosch IoT Suite が基盤となり、アラーム機能などの追加機能を指先で操作できます。

電力会社である **EWE** 社は、Bosch IoT Suite を使用して電力消費量データを効率的に管理しています。これは付加価値サービスにもつながっています。例えば、データを使用して消費量を分析することで、電力消費量の最も多い家電製品について詳細な情報を得ることができるため、節電につながります。

Bosch IoT Suite は、ダイムラー、Emmaljunga、EWE などのお客様が使用するだけでなく、ボッシュ IoT ソリューションの中心的なソフトウェアプラットフォームでもあります。例えば、**ボッシュビルディングテクノロジー**のスマートカメラを、クラウドや既存のバックエンドと接続します。この接続により、ライフサイクル全般を通じてカメラをコストパフォーマンスに優れた方法で管理し、デバイスやゲートウェイのソフトウェアやファームウェアを更新することができます。

Bosch Rexroth のユースケースは、Bosch IoT Suite がいかに製造業界の要件に適合するかを示しています。ボッシュの子会社である Bosch Rexroth は、ドライブ & コントロールテクノロジー技術に特化しており、Bosch IoT Suite を使用して建設機械向けのソリューションである BODAS Connect を構築しています。オープンで拡張性の高い、エンドツーエンドのネットワーク化を実現するソリューションで、特定の機械情報へのアクセスを可能とします。サービススタッフが不在でも、ボタンを押すだけでソフトウェアアップデートなどのアフターセールスサービスを提供することができます。建機車両（又は建設機械）と農業車両のメーカーである **Reform** 社は、機械（又は車両）の不具合を迅速に解消するため、BODAS Connect を採用しています。

エッジコンピューティングと AI への注力

Bosch IoT Suite はすでに 1,000 万を超えるセンサー、デバイス、ゲートウェイ、マシンをそのユーザーやエンタープライズシステムに接続しています。ボッシュの IoT ソリューションは人工知能 (AI) の活用を進めており、将来的にはさらにインテリジェントなシステムとなります。ボッシュは、人々がより楽に、できる限り安全に暮らせるように、AI とモノのインターネット化 (IoT) を活用しています。デバイスをクラウドに直接接続することはその手段の 1 つですが、エッジコンピューティングを組み込むことで大きなメリットを得ているユースケースも確実に増えています。エッジデバイスはインターネット対応ですが、そのデータをローカルで処理することができます。これらのデバイスはクラウドに送るデータが少ないため、ネットワーク全体で利用可能な IT リソースを有効活用することができます。このローカルロジックにより、これらのデバイスはイベントにより素早く自動的に応答できます。「3.3 万以上のエッジデバイスが Bosch IoT Suite に対応するようになり、ローカルでもインターネット経由でも、多数のプロトコルによって接続されています」とファーバーは述べています。

Bosch.IO は将来的に、お客様が IoT ソリューションをより効率的に実装できる、事前設定済みのサービスパッケージにも注力します。パッケージの開発に向け、エキスパートが Bosch IoT Suite の各種サービスモジュールを組み合わせています。こうしたモジュールの 1 つが Bosch IoT Hub です。これは、ゲートウェイ経由で (エッジ) デバイスを Bosch IoT Suite に直接接続するための、アップスケール可能なサービスです。

標準プロトコルと顧客固有プロトコルを使用した接続をサポートします。「デバイスからクラウドまで、お客様は私たちの新しい製品ポートフォリオを利用して独自の一体型 IoT アプリケーションを構築することができます」とファーバーは述べています。

アナリストからの高い評価

Bosch IoT Suite は、ボッシュおよび Eclipse IoT ワーキンググループに属する他企業のエキスパート達と共同開発したオープンソースのソフトウェアがベースであることから、非常に高い汎用性を誇ります。欧州の IT 企業を対象とした調査およびコンサルティングの独立系トップ企業 teknowlogy Group 傘下にあるコンサルティング企業 PAC の最新レポートによると、Bosch IoT Suite はすべてのオープンソースベースの IoT プラットフォームの中でも最高レベルにあると評価されています。「Bosch IoT Suite に対してこのような素晴らしい評価をいただいたことを光栄に思います。中期的には、IoT プラットフォームの市場は統合していくと予測しています。普及が見込まれる 3~5 つのプラットフォームのうち、1 つはオープンソースベースとなるでしょう」

報道用画像: #2718967, #2944459, #2892370, #1856470

報道関係対応窓口:

Annett Fischer,

電話: +49 711 811-6286

Twitter: @Annett__Fischer

Bosch.IO GmbH は、コンサルティングと実装のスキルを組み合わせ、小売、エネルギー、ビルディング、産業、消費財、農業、モビリティ業界に注力した IoT およびデジタル製品を提供しています。Bosch.IO は、コンサルタント、コーチ、クラウドソフトウェア開発者、デジタルマーケター、ユーザーエクスペリエンスおよびビジネスモデルデザイナー、ソリューションアーキテクト、プロジェクトマネージャーを含む 900 名超のエキスパートを有しています。この学際的なチームは、ドイツ、ブルガリア、スペイン、日本、中国、シンガポールそして米国において、世界のお客様へサービスを提供するために協働しています。Bosch.IO は、幅広い業界知識と豊富なソフトウェアの専門知識を活かして、250 超の IoT プロジェクトでその功績を実証しています。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。 <https://bosch.io/ja/>、 www.bosch-iot-suite.com

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2019 年の従業員数は約 40.3 万人 (2019 年 12 月 31 日現在)、暫定決算報告での売上高は 779 億ユーロ (約 9.5 兆円*) を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点で約 7 万 2,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

*2019年の為替平均レート、1ユーロ=122.0058円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)